

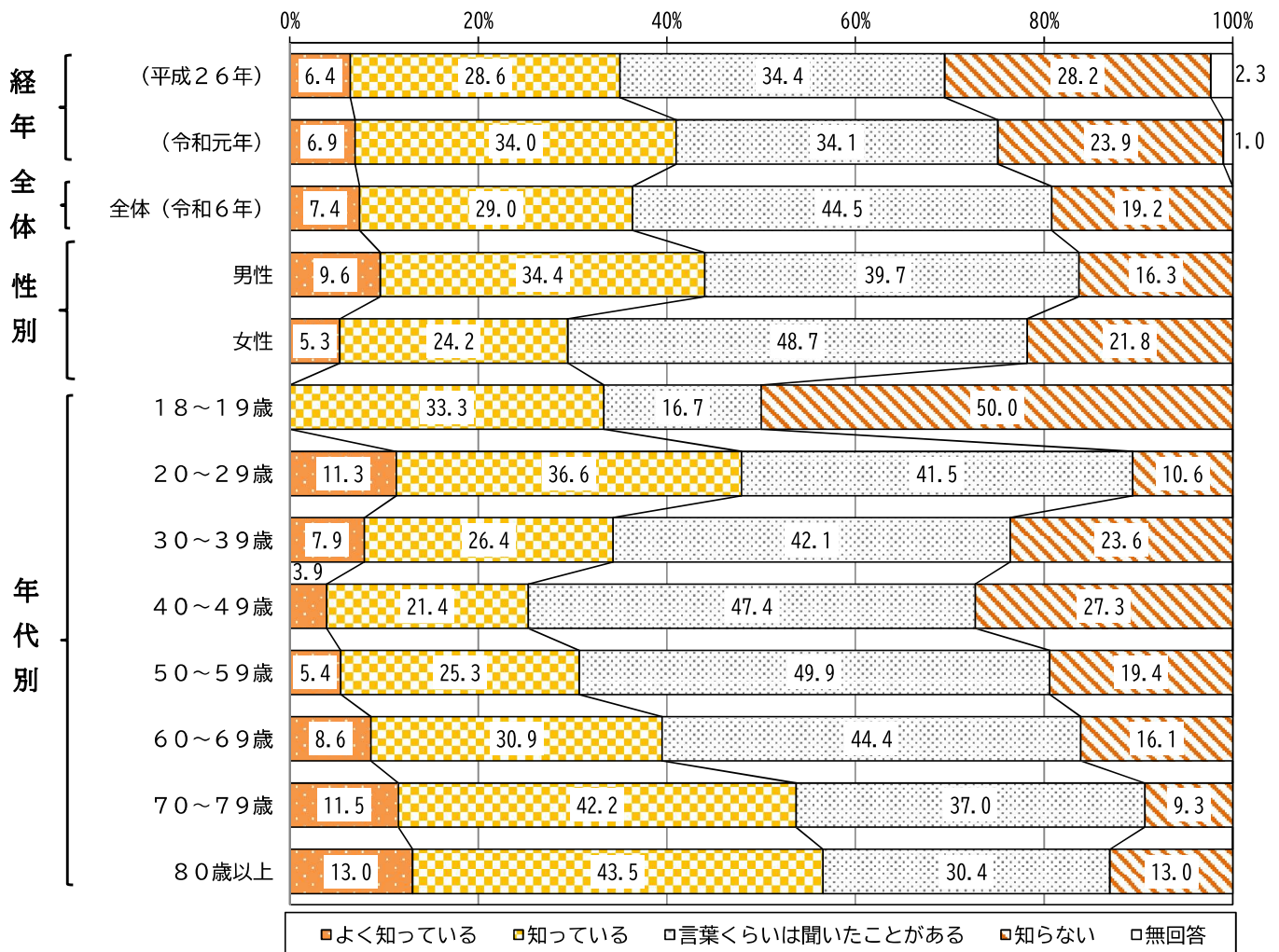
第3章 調査の結果

1. 男女平等の意識について

(1) 男女共同参画の用語に関する認知度（問1）

問1 あなたは、これらの言葉を御存知ですか。アからシのそれぞれの言葉について、該当するものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

図表1ーア『男女共同参画社会』という言葉の認知度（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



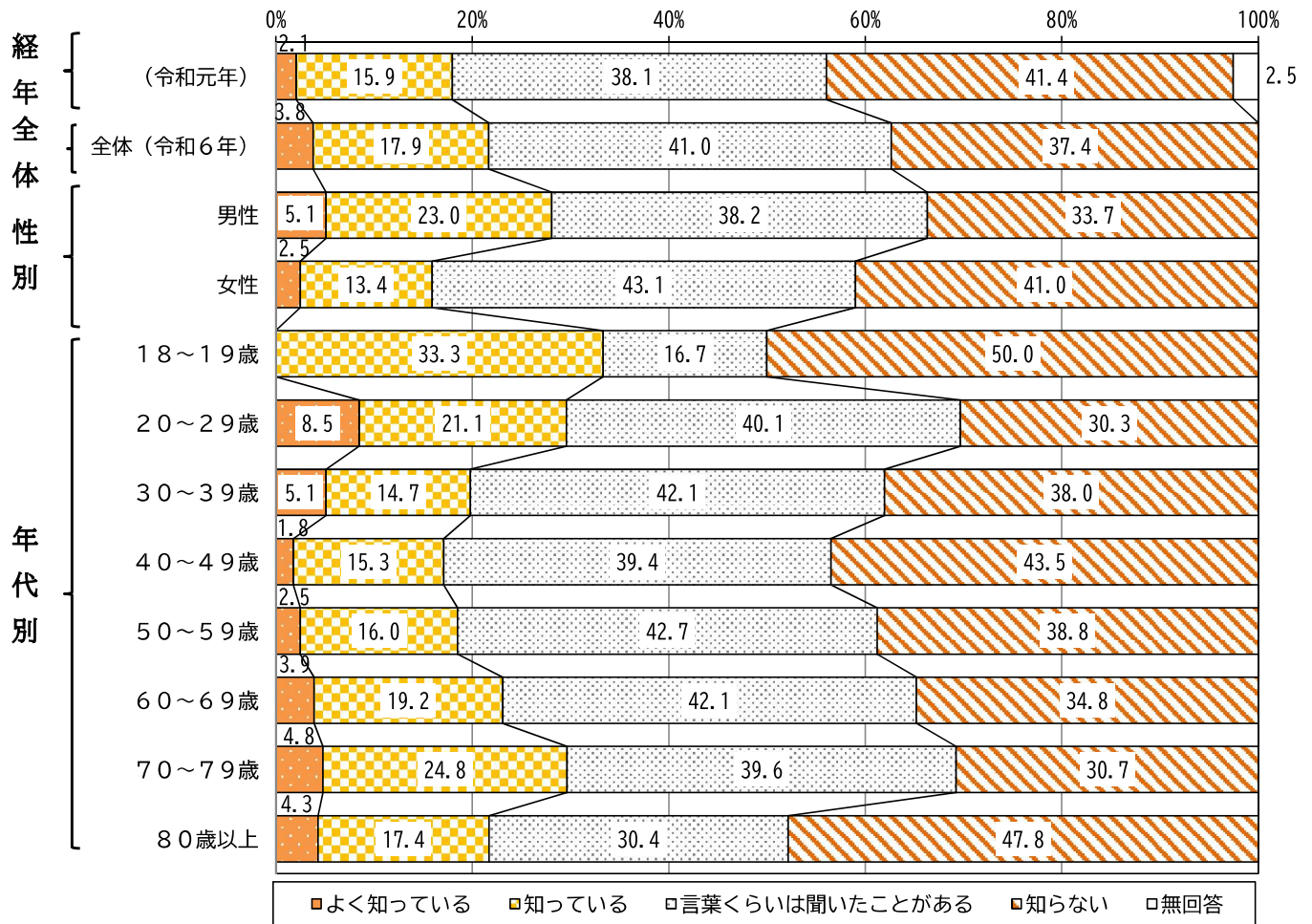
『男女共同参画社会』という言葉の認知度については、全体では、「知っている」（80.9％）と回答した者（「よく知っている」と「知っている」、「言葉くらいは聞いたことがある」の合計（以下同じ））の割合は、「知らない」（19.2％）と回答した者の割合を上回っている。

過去の調査と比較すると、「知っている」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から5.9ポイント増加している。

性別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、男性が83.7％、女性が78.2％と男性の方が5.5ポイント高くなっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、20歳代及び50歳以上では8割以上、18～19歳では50.0％となっている。

図表Ⅰ－イ 『女性活躍推進法』という言葉の認知度（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



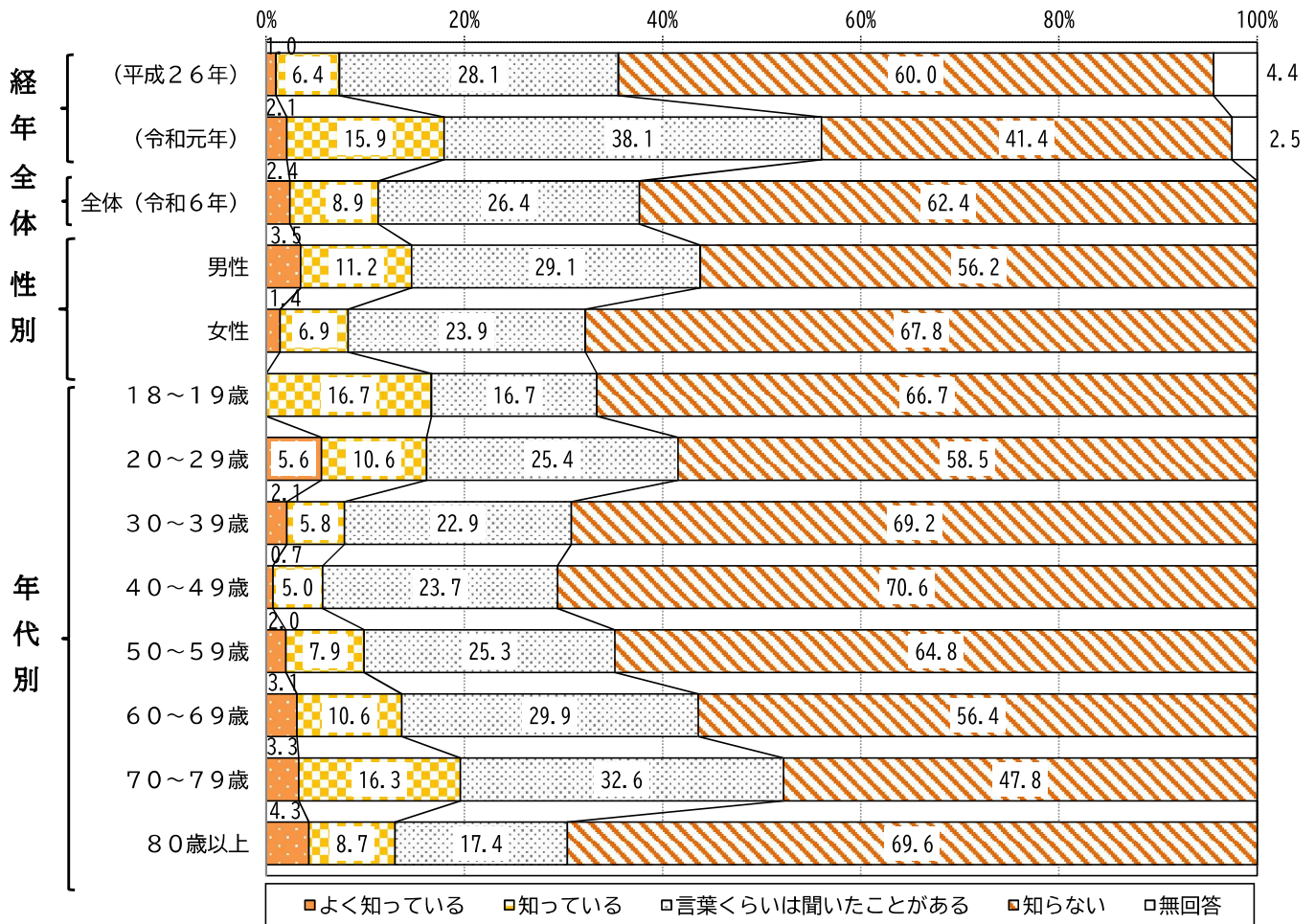
『女性活躍推進法』という言葉の認知度については、全体では、「知っている」（62.7％）と回答した者（「よく知っている」と「知っている」、「言葉くらいは聞いたことがある」の合計（以下同じ）の割合は、「知らない」（37.4％）と回答した者の割合を上回っている。

過去の調査と比較すると、「知っている」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から 6.6 ポイント増加している。

性別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、男性が 66.3％、女性が 59.0％と男性の方が 7.3 ポイント高くなっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、20 歳代及び 70 歳代ではおよそ 7 割、18 ～19 歳では 50.0％となっている。

図表1-ウ 『愛媛県男女共同参画推進条例』という言葉の認知度（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



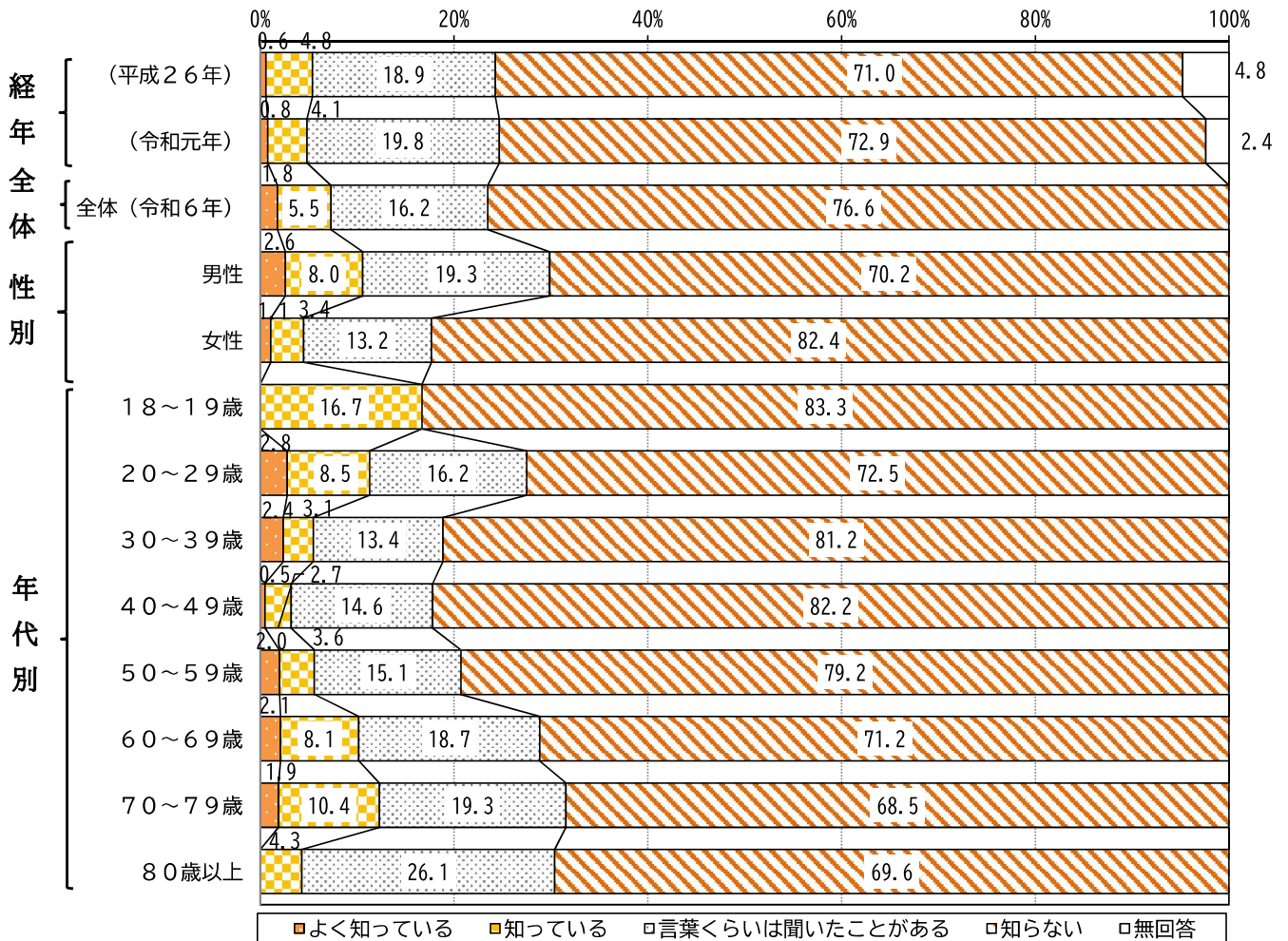
『愛媛県男女共同参画推進条例』という言葉の認知度については、全体では、「知らない」(62.4%)と回答した者の割合は、「知っている」(37.7%)と回答した者（「よく知っている」と「知っている」、「言葉くらいは聞いたことがある」の合計（以下同じ））と回答した者の割合を上回っている。

過去の調査と比較すると、「知っている」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から18.4ポイント減少している。

性別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、男性が43.8%、女性が32.2%と男性の方が11.6ポイント高くなっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、70歳代では52.2%、40歳代では29.4%となっている。

図表Ⅰ－エ『愛媛県男女共同参画推進委員制度・苦情処理機関』という言葉の認知度（N＝2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



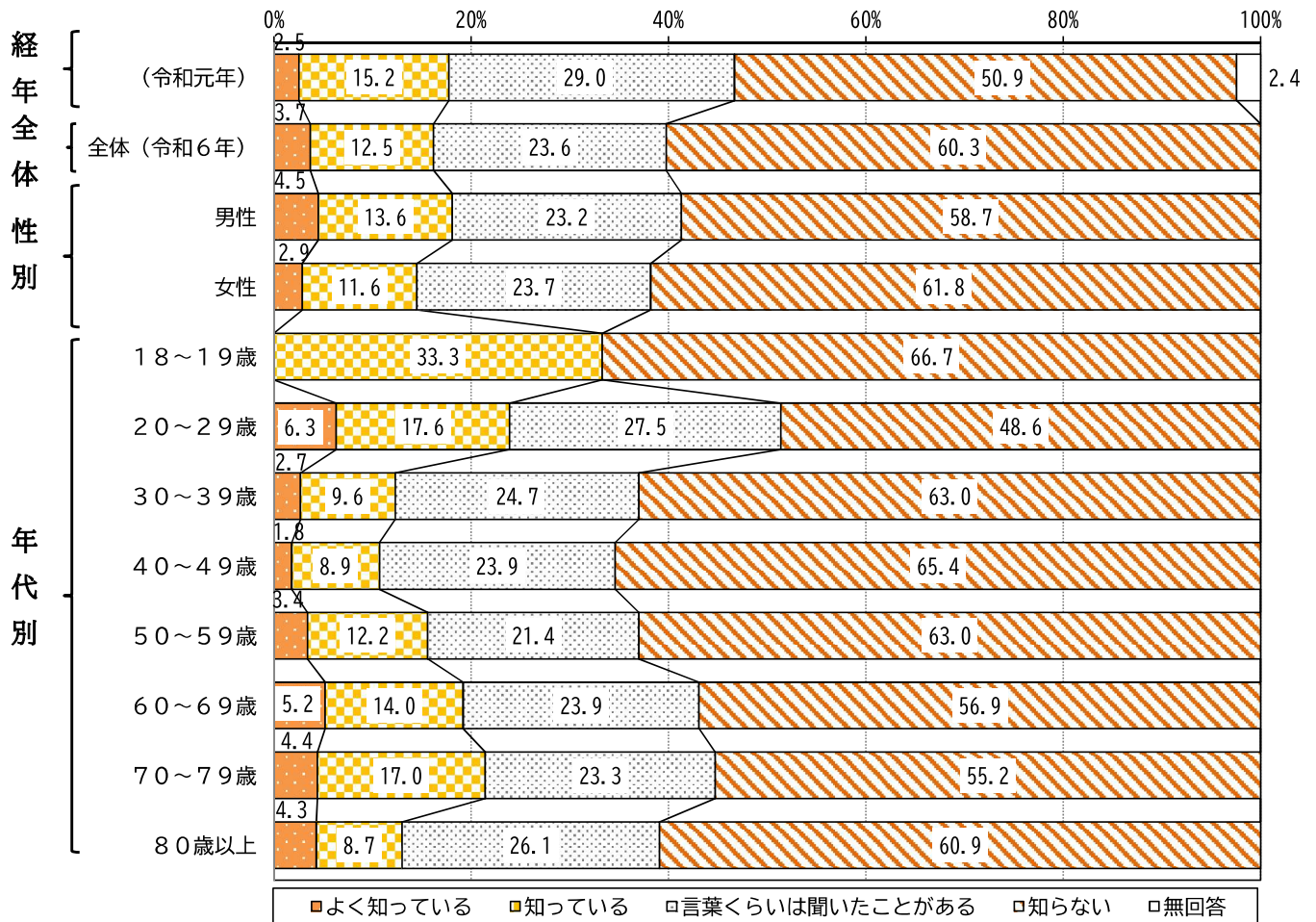
『愛媛県男女共同参画推進委員制度・苦情処理機関』という言葉の認知度については、全体では、「知らない」（76.6％）と回答した者の割合は、「知っている」（23.5％）と回答した者（「よく知っている」と「知っている」、「言葉くらいは聞いたことがある」の合計（以下同じ））の割合を上回っている。

過去の調査と比較すると、「知っている」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から1.2ポイント減少している。

性別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、男性が29.9％、女性が17.7％と男性の方が12.2ポイント高くなっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、70歳以上では3割以上、18～19歳及び30～40歳代では2割未満となっている。

図表1-オ 『愛媛県男女共同参画センター』という言葉の認知度（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



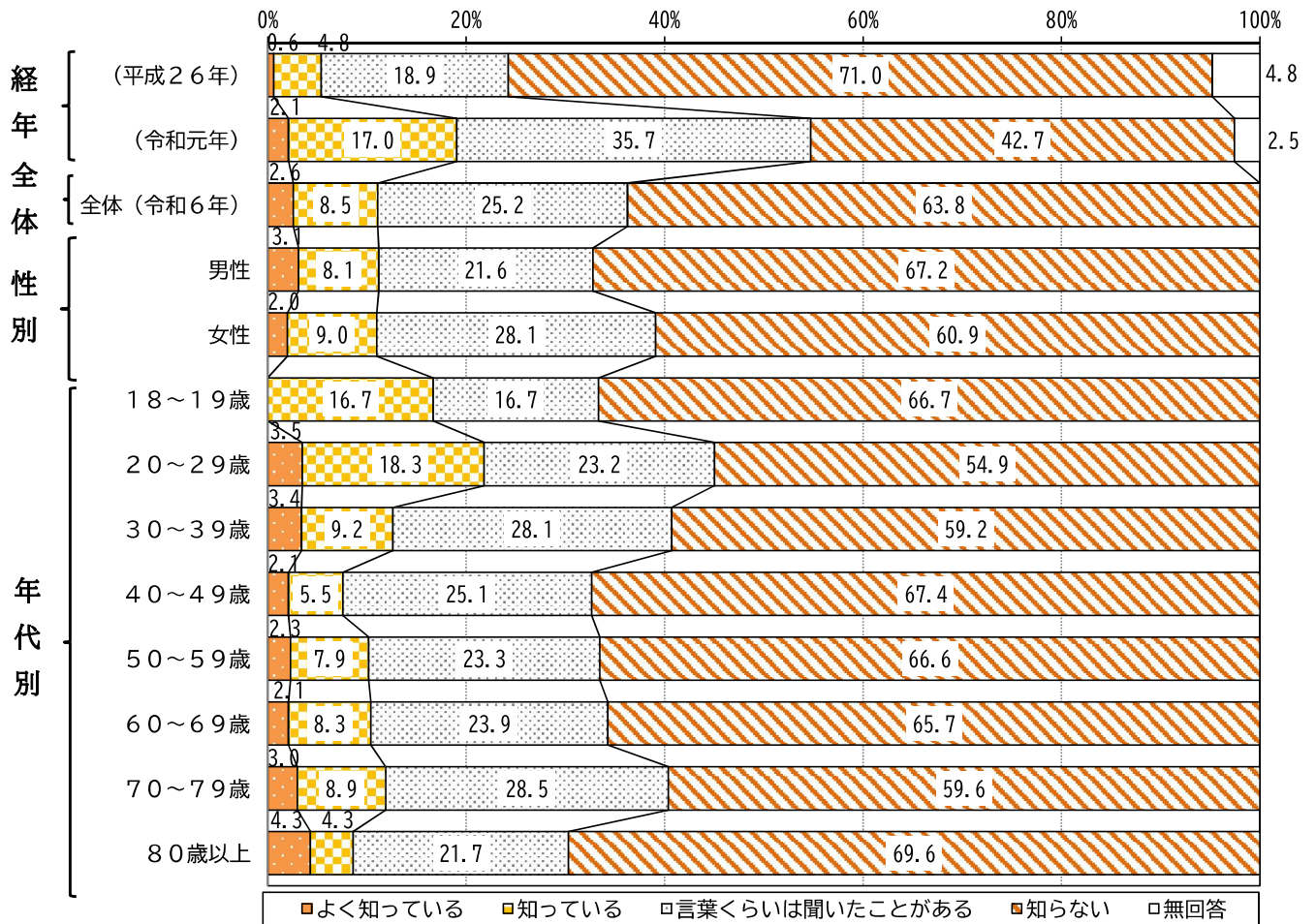
『愛媛県男女共同参画センター』という言葉の認知度については、全体では、「知らない」(60.3%)と回答した者の割合は、「知っている」(39.8%)と回答した者（「よく知っている」と「知っている」、「言葉くらいは聞いたことがある」の合計（以下同じ））の割合を上回っている。

過去の調査と比較すると、「知っている」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から6.9ポイント減少している。

性別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、男性が41.3%、女性が38.2%と男性の方が3.1ポイント高くなっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、20歳代では51.4%、18～19歳、30～50歳代、80歳以上では4割未満となっている。

図表1-カ 『配偶者暴力相談支援センター』という言葉の認知度（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



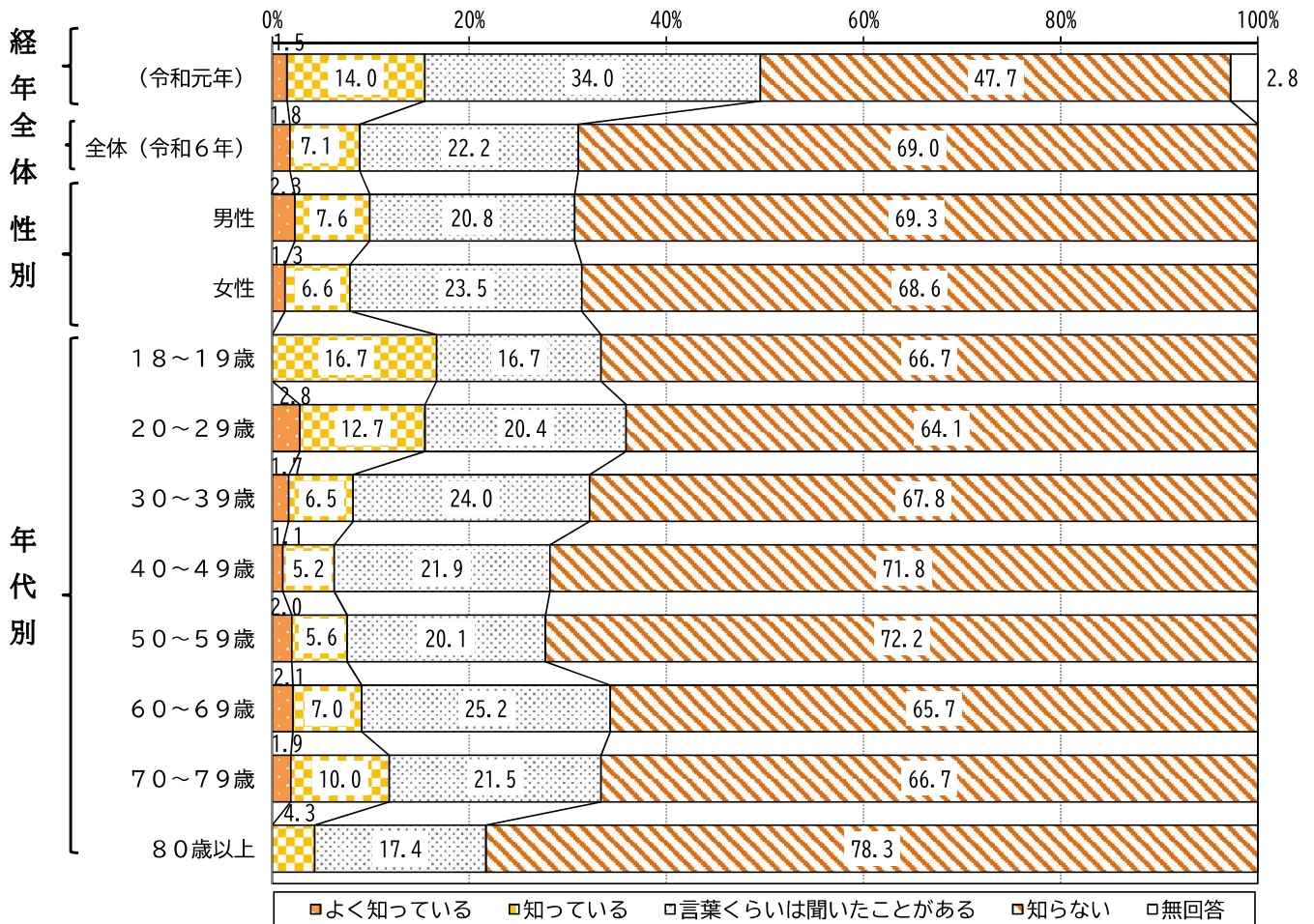
『配偶者暴力相談支援センター』という言葉の認知度については、全体では、「知らない」(63.8%)と回答した者の割合は、「知っている」(36.3%)と回答した者（「よく知っている」と「知っている」、「言葉くらいは聞いたことがある」の合計（以下同じ））の割合を上回っている。

過去の調査と比較すると、「知っている」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から18.5ポイント減少している。

性別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、男性が32.8%、女性が39.1%と女性の方が6.3ポイント高くなっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、20歳代では45.0%、80歳以上では30.3%となっている。

図表1ーキ 『えひめ性暴力被害者支援センター（ひめここ）』という言葉の認知度（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



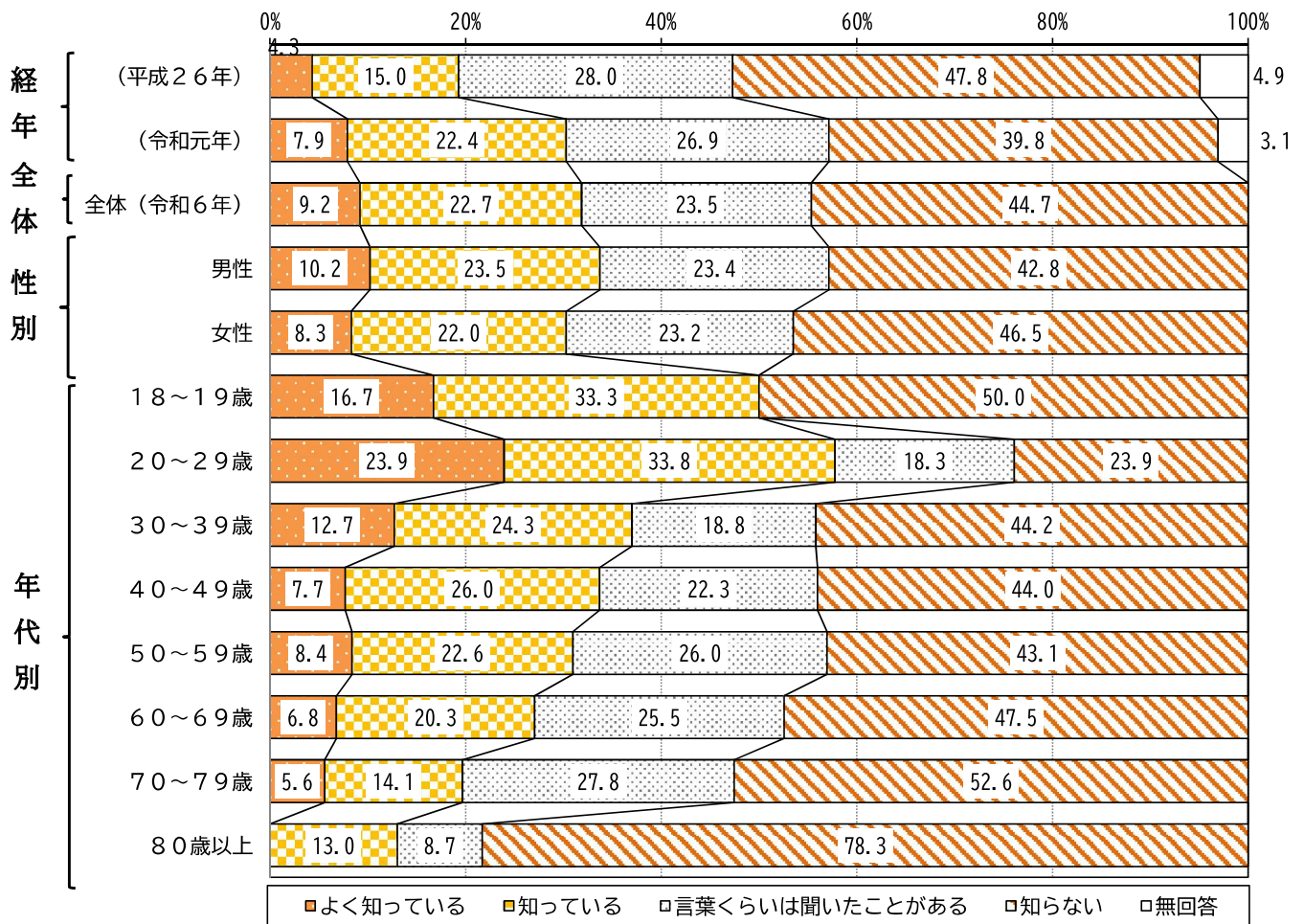
『えひめ性暴力被害者支援センター（ひめここ）』という言葉の認知度については、全体では、「知らない」（69.0％）と回答した者の割合は、「知っている」（31.1％）と回答した者（「よく知っている」と「知っている」、「言葉くらいは聞いたことがある」の合計（以下同じ））の割合を上回っている。

過去の調査と比較すると、「知っている」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から18.4ポイント減少している。

性別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、男性が30.7％、女性が31.4％と性の女性の方が0.7ポイント高くなっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、20歳代では35.9％、80歳以上では21.7％となっている。

図表1-ク 『ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）』という言葉の認知度（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



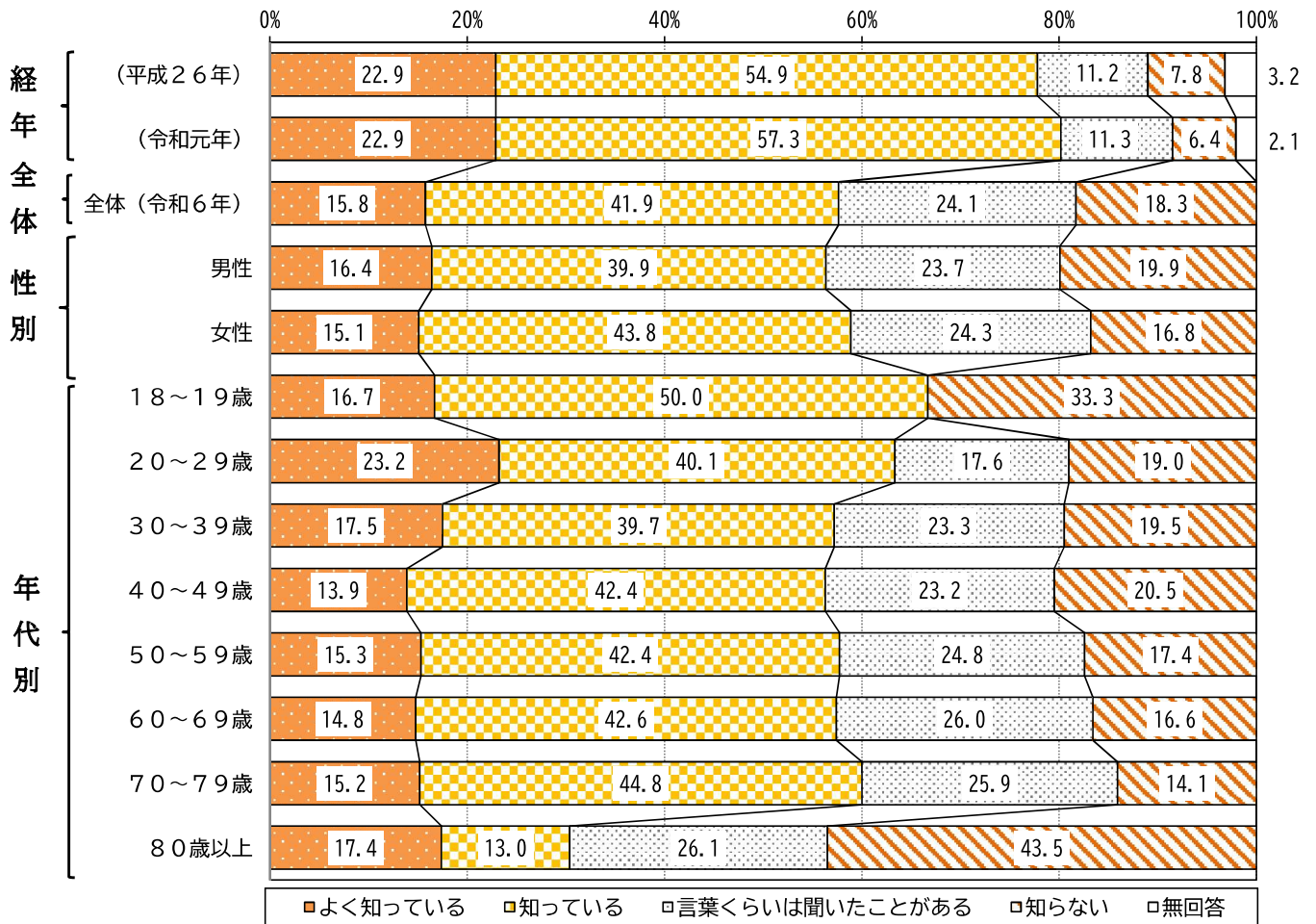
『ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）』という言葉の認知度については、全体では、「知っている」（55.4%）と回答した者（「よく知っている」と「知っている」、「言葉くらいは聞いたことがある」の合計（以下同じ））の割合は、「知らない」（44.7%）と回答した者の割合を上回っている。

過去の調査と比較すると、「知っている」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から1.8ポイント減少している。

性別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、男性が57.1%、女性が53.5%と男性の方が3.6ポイント高くなっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、20歳代では76.0%、80歳以上では21.7%となっている。

図表1-ケ 『ドメスティック・バイオレンス（DV）』という言葉の認知度（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



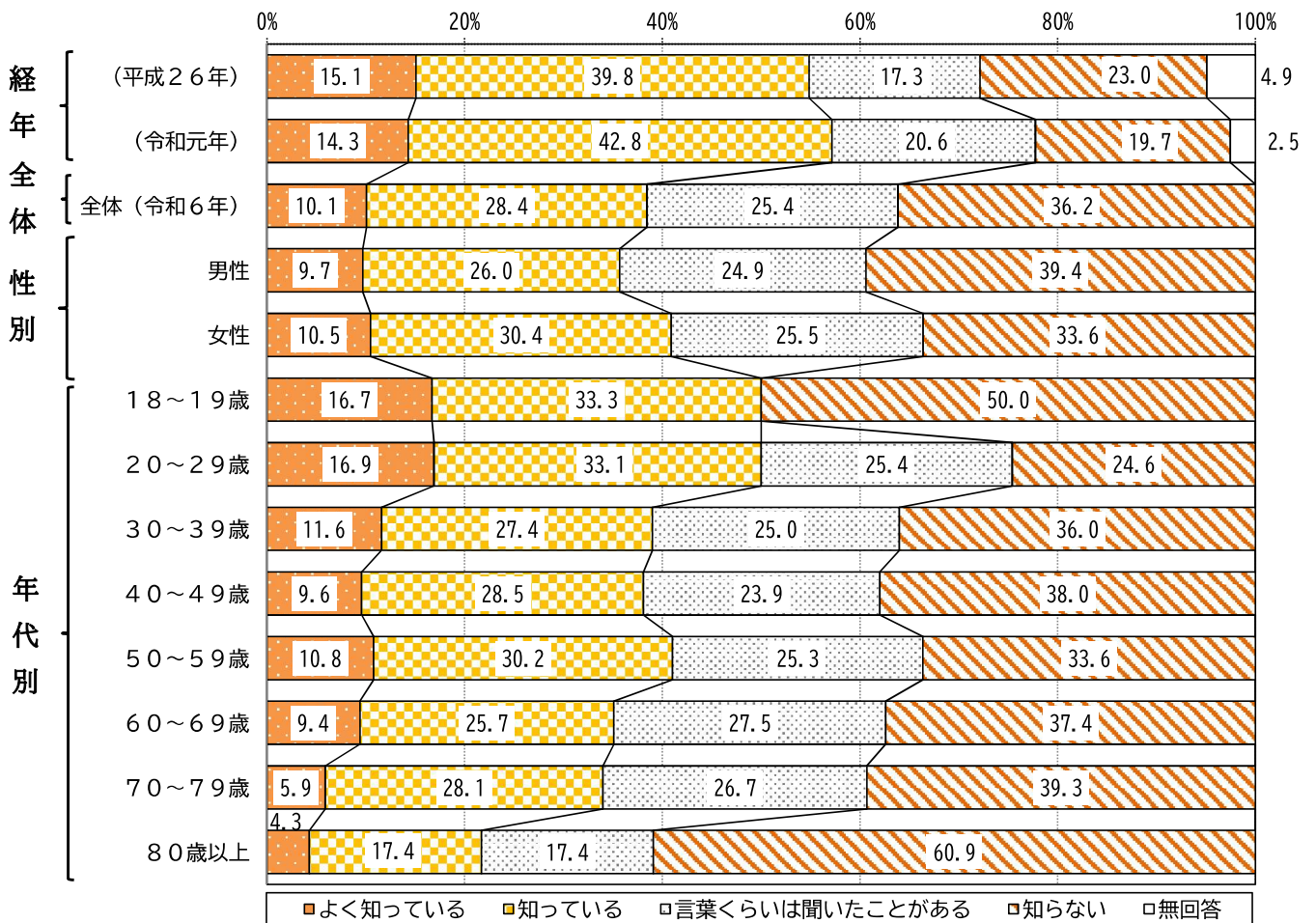
『ドメスティック・バイオレンス（DV）』という言葉の認知度については、全体では、「知っている」（81.8%）と回答した者（「よく知っている」と「知っている」、「言葉くらいは聞いたことがある」の合計（以下同じ））の割合は、「知らない」（18.3%）と回答した者の割合を上回っている。

過去の調査と比較すると、「知っている」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から9.7ポイント減少している。

性別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、男性が80.0%、女性が83.2%と女性の方が3.2ポイント高くなっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、70歳代では85.9%、80歳以上では56.5%となっている。

図表Ⅰーコ 『デートDV（交際相手からのDV）』という言葉の認知度（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



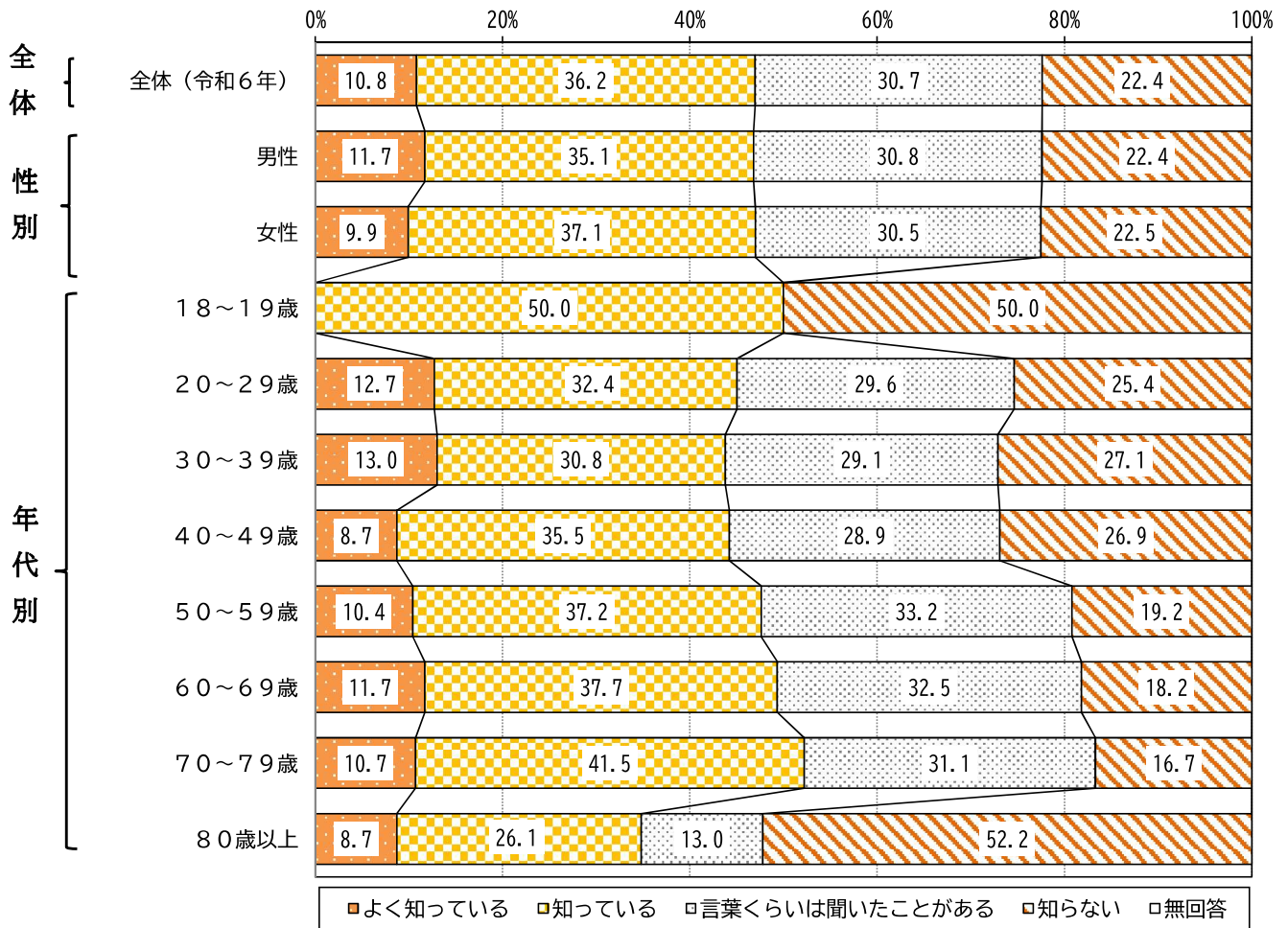
『デートDV（交際相手からのDV）』という言葉の認知度については、全体では、「知っている」（63.9%）と回答した者（「よく知っている」と「知っている」、「言葉くらいは聞いたことがある」の合計（以下同じ））の割合は、「知らない」（36.2%）と回答した者の割合を上回っている。

過去の調査と比較すると、「知っている」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から13.8ポイント減少している。

性別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、男性が60.6%、女性が66.4%と女性の方が5.8ポイント高くなっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、20歳代では75.4%、80歳以上では39.1%となっている。

図表1ーサ『ジェンダー平等』という言葉の認知度（N=2,000）
（全体・性別・年代別）

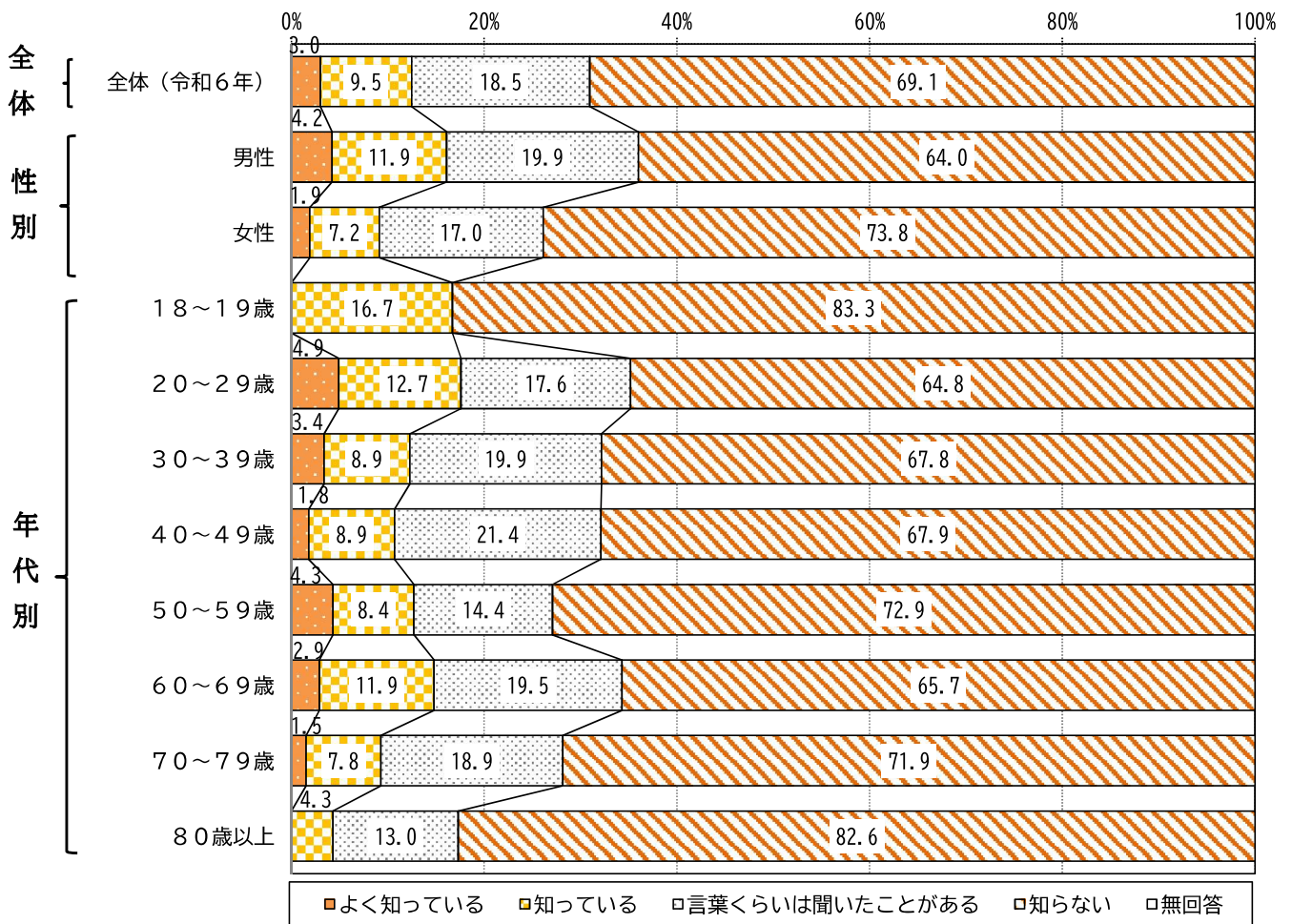


今回の調査の新設項目で、『ジェンダー平等』という言葉の認知度については、全体では、「知っている」（77.7%）と回答した者（「よく知っている」と「知っている」、「言葉くらいは聞いたことがある」の合計（以下同じ））の割合は、「知らない」（22.4%）と回答した者の割合を上回っている。

性別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、男性が77.6%、女性が77.5%と男性の方が0.1ポイント高くなっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、50～70歳代では8割以上、80歳以上では47.8%となっている。

図表1ーシ 『ひめボス宣言事業所認証制度』という言葉の認知度（N=2,000）
（全体・性別・年代別）



今回の調査の新設項目で、『ひめボス宣言事業所認証制度』という言葉の認知度については、全体では、「知らない」（69.1％）と回答した者の割合は、「知っている」（31.0％）と回答した者（「よく知っている」と「知っている」、「言葉くらいは聞いたことがある」の合計（以下同じ））の割合を上回っている。

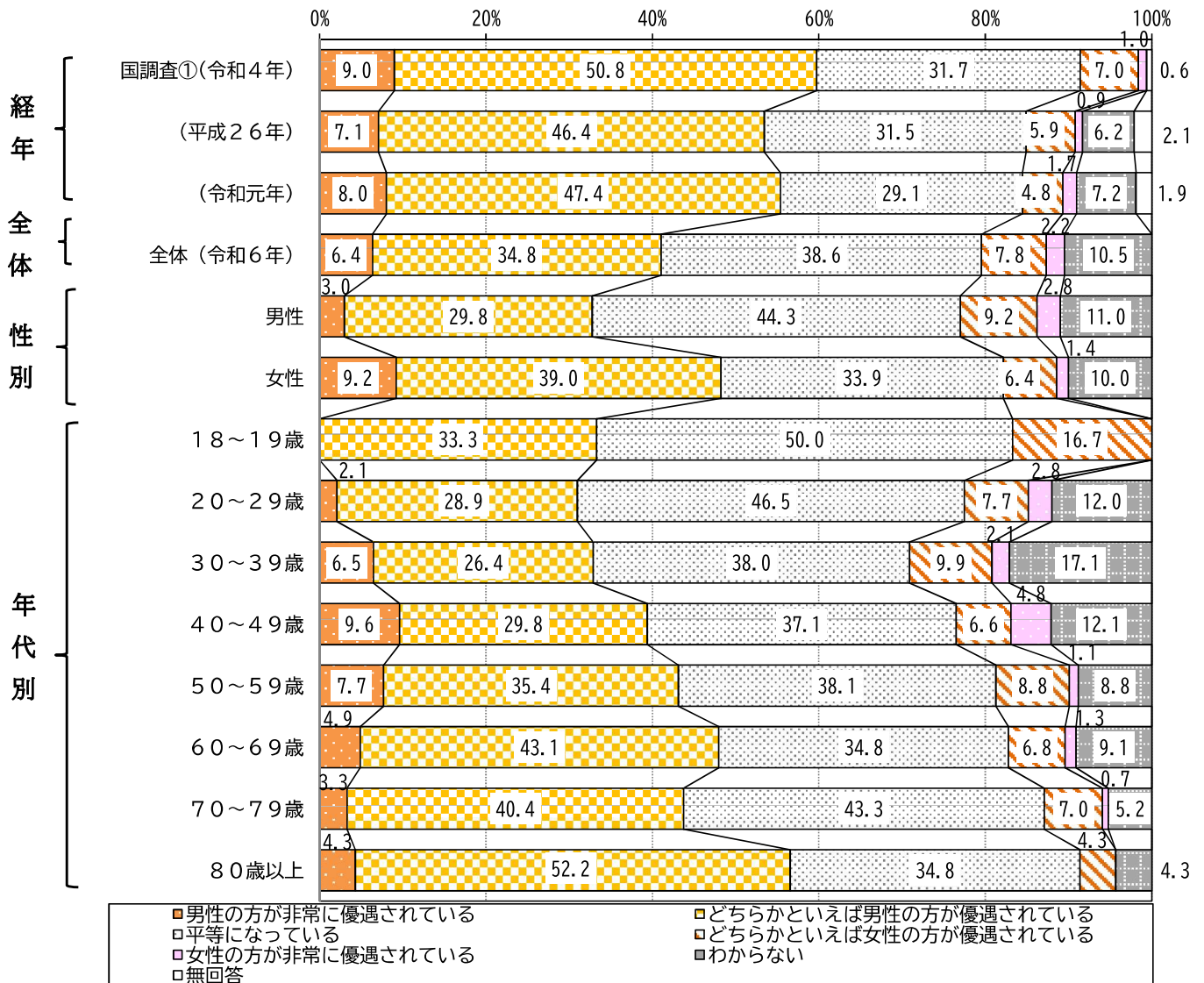
性別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、男性が36.0％、女性が26.1％と男性の方が9.9ポイント高くなっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した者の割合は、20歳代では35.2％、80歳以上では17.3％となっている。

(2) 男女の地位の平等感 (問2)

問2 あなたは、次の各分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。アからキのそれぞれの分野について、該当するものを一つ選んでください。

図表2-ア『家庭の中で』の男女の地位の平等感 (N=2,000)
(経年・全体・性別・年代別)



『家庭の中で』の男女の地位の平等感については、全体では、「男性の方が優遇されている」(41.2%)と回答した者(「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計(以下同じ))の割合が高く、次いで「平等になっている」(38.6%)となっている。

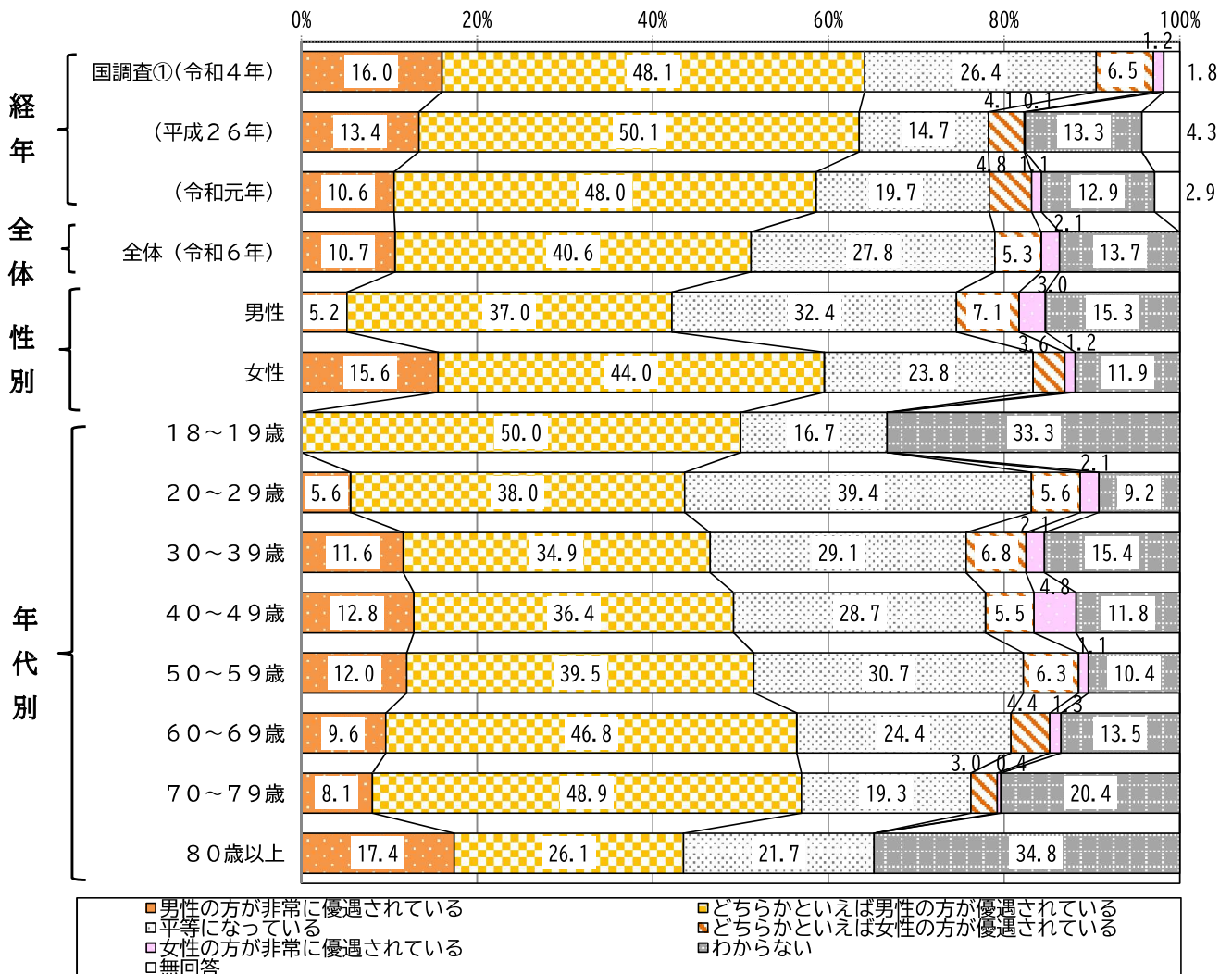
国の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、国調査(令和4年)では59.8%となっており、県調査(41.2%)は18.6ポイント下回っている。

過去の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から14.2ポイント減少している。「平等になっている」と回答した者の割合が9.5ポイント増加している。

性別で見ると、男性は「平等になっている」(44.3%)と回答した者の割合が高く、女性は「男性の方が優遇されている」(48.2%)と回答した者の割合が高くなっている。

年代別で見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、80歳代以上で56.5%と高くなっており、「平等になっている」と回答した者の割合は、18歳~19歳代、20歳代でおよそ5割と高くなっている。

図表2-イ 『職場の中で』の男女の地位の平等感 (N=2,000)
(経年・全体・性別・年代別)



『職場の中で』の男女の地位の平等感については、全体では、「男性の方が優遇されている」(51.3%)と回答した者(「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計(以下同じ))の割合が高く、次いで「平等になっている」(27.8%)となっている。

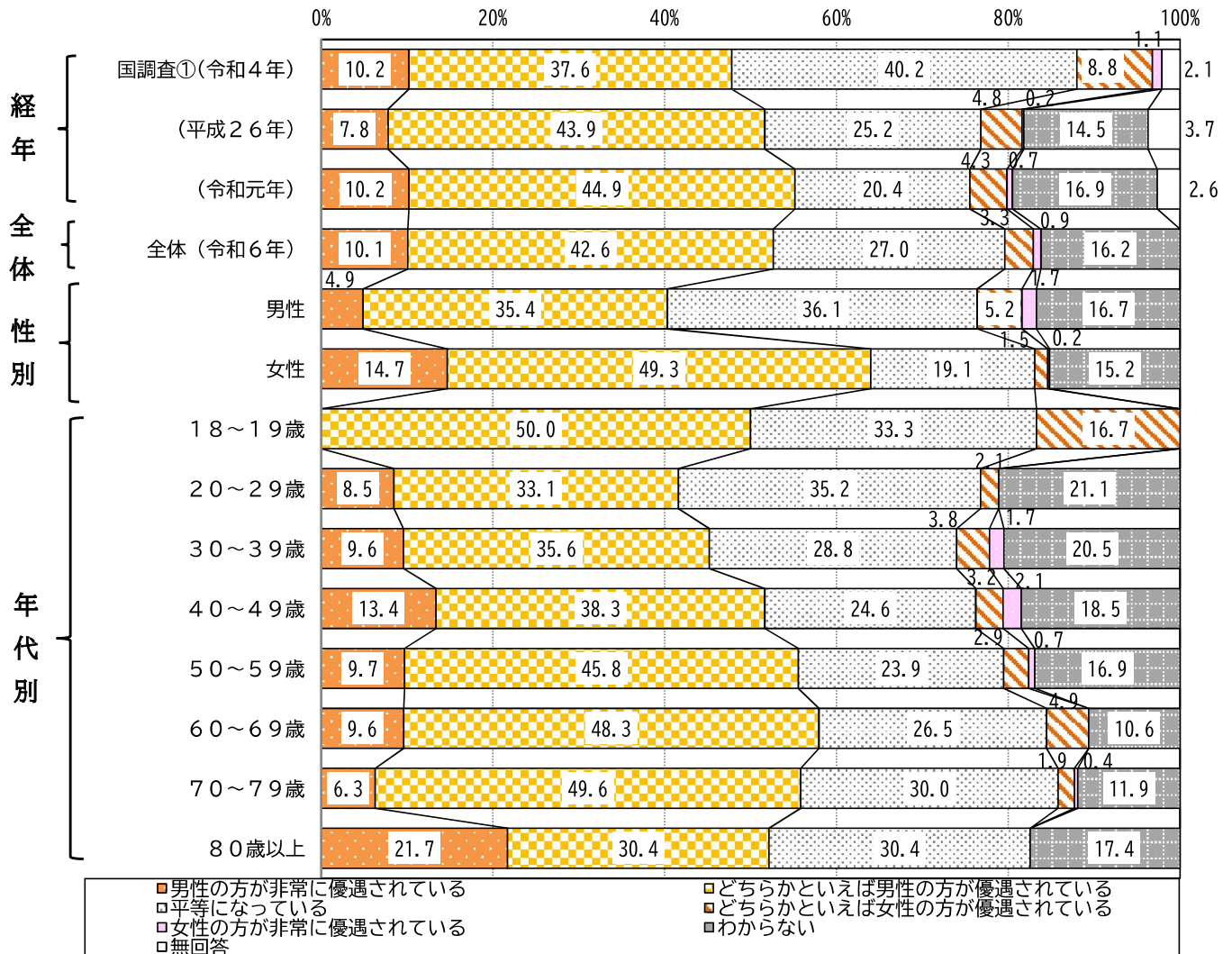
国の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、国調査(令和4年)では64.1%となっており、県調査(51.3%)は12.8ポイント下回っている。

過去の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から7.3ポイント減少している。「平等になっている」と回答した者の割合が8.1ポイント増加している。

性別でみると、男性・女性ともに「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合が高く、男性(42.2%)より女性(59.6%)の方が17.4ポイント上回っている。

年代別でみると、いずれの年代も「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合が高く、特に18~19歳、40歳代では5割以上と高くなっている。

図表2-ウ『地域社会の中で（町内会、自治会など）』の男女の地位の平等感（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



『地域社会の中で（町内会、自治会など）』の男女の地位の平等感については、全体では、「男性の方が優遇されている」（52.7%）と回答した者（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計（以下同じ））の割合が高く、次いで「平等になっている」（27.0%）となっている。

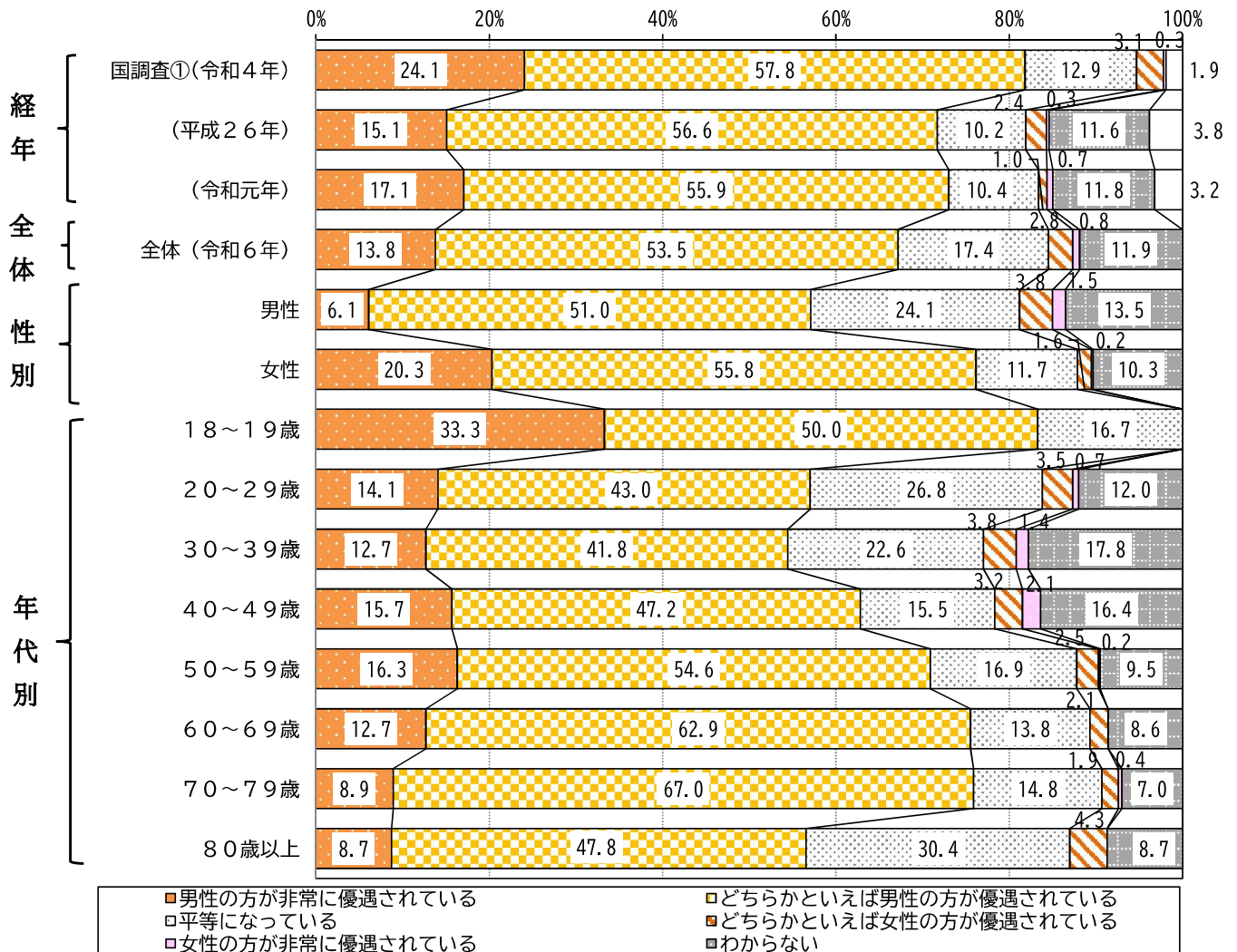
国の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、国調査（令和4年）では47.8%となっており、県調査（52.7%）は4.9ポイント上回っている。

過去の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から2.4ポイント減少している。「平等になっている」と回答した者の割合が6.6ポイント増加している。

性別でみると、男性・女性ともに「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合が高く、男性（40.3%）より女性（64.0%）の方が23.7ポイント上回っている。

年代別でみると、いずれの年代も「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合が高く、特に18～19歳代、40歳代以上では5割以上と高くなっている。

図表2-エ『社会通念や慣習やしきたりなど』の男女の地位の平等感 (N=2,000)
(経年・全体・性別・年代別)



『社会通念や慣習やしきたりなど』の男女の地位の平等感については、全体では、「男性の方が優遇されている」(67.3%)と回答した者(「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計(以下同じ))の割合が高く、次いで「平等になっている」(17.4%)となっている。

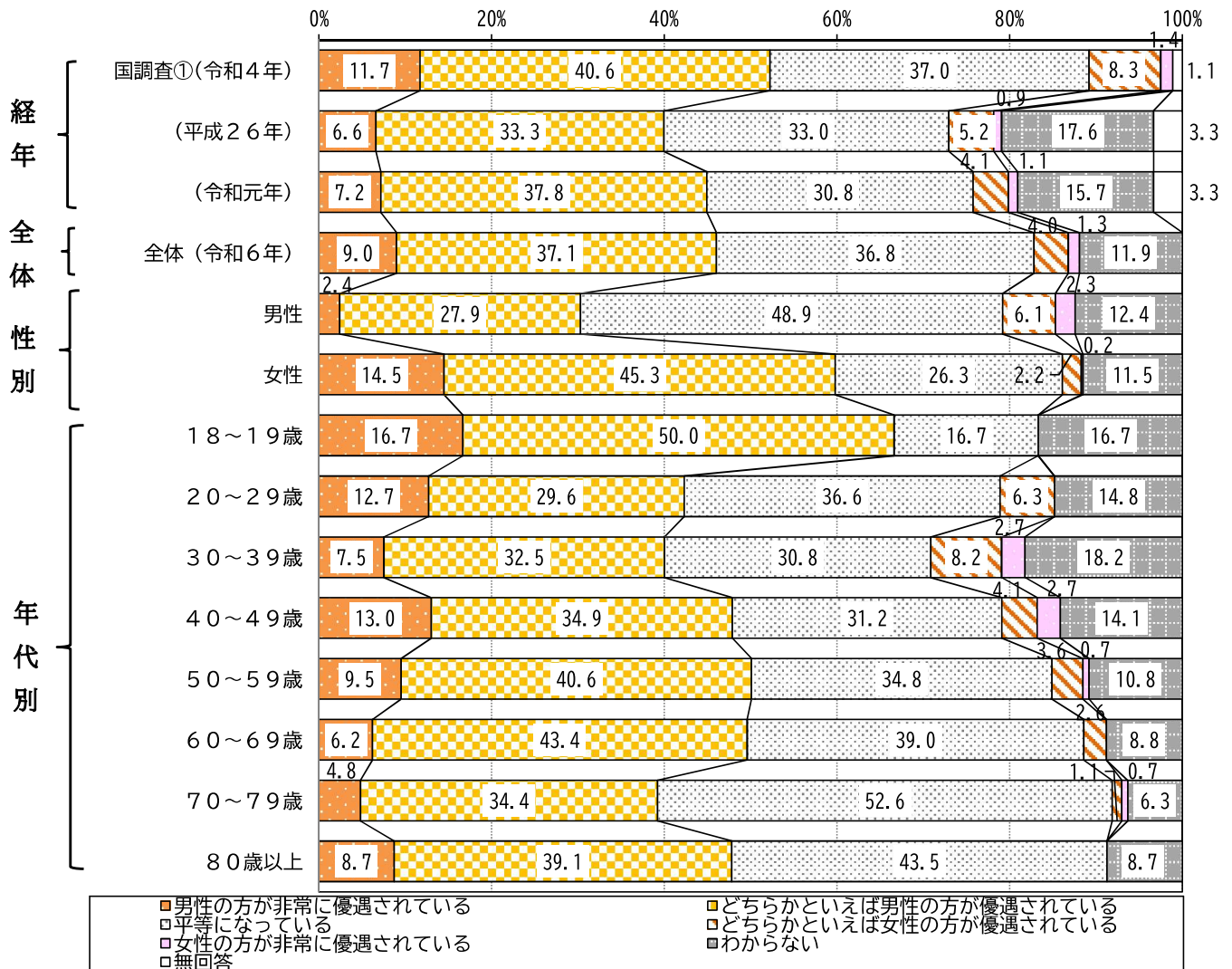
国の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、国調査(令和4年)では81.9%となっており、県調査(67.3%)は14.6ポイント下回っている。

過去の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から5.7ポイント減少している。「平等になっている」と回答した者の割合が7.0ポイント増加している。

性別で見ると、男性・女性ともに「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合が高く、男性(57.1%)より女性(76.1%)の方が19.0ポイント上回っている。

年代別で見ると、いずれの年代も「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合が高く、特に18~19歳、50~70歳代では7割以上と高くなっている。

図表2-オ『法律や制度のうえで』の男女の地位の平等感 (N=2,000)
(経年・全体・性別・年代別)



『法律や制度のうえで』の男女の地位の平等感については、全体では、「男性の方が優遇されている」(46.1%)と回答した者(「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計(以下同じ))の割合が高く、次いで「平等になっている」(36.8%)となっている。

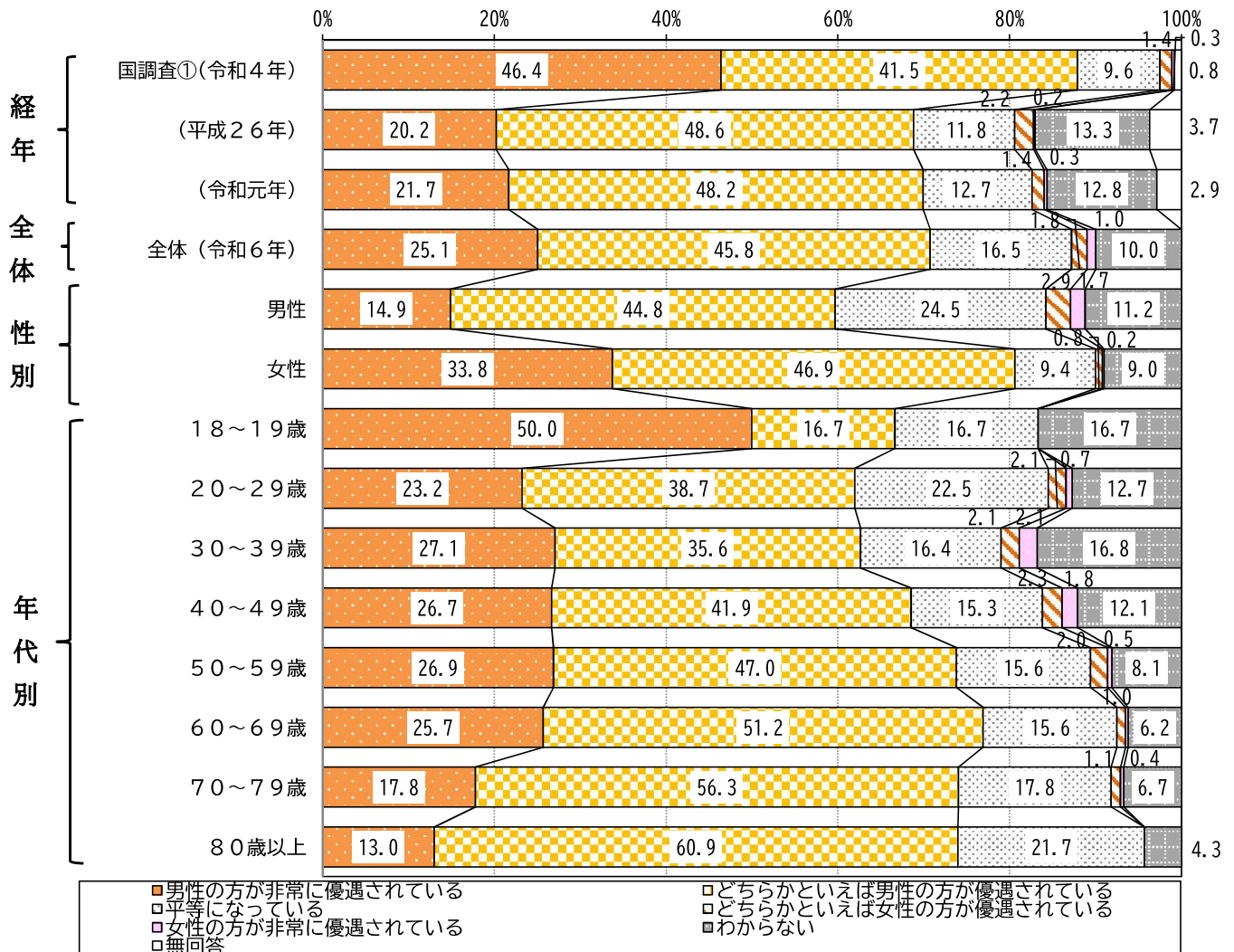
国の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、国調査(令和4年)では52.3%となっており、県調査(46.1%)は6.2ポイント下回っている。

過去の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から1.1ポイント増加し、「平等になっている」と回答した者の割合も6.0ポイント増加している。

性別で見ると、男性は「平等になっている」(48.9%)と回答した者の割合が高く、女性は「男性の方が優遇されている」(59.8%)と回答した者の割合が高くなっている。

年代別で見ると、70歳代以外の年代は「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合が高く、特に18~19歳、50歳代では5割以上、70歳代は「平等になっている」(52.6%)と高くなっている。

図表2－カ『政治の分野で』の男女の地位の平等感（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



『政治の分野で』の男女の地位の平等感については、全体では、「男性の方が優遇されている」（70.9%）と回答した者（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計（以下同じ））の割合が高く、次いで「平等になっている」（16.5%）となっている。

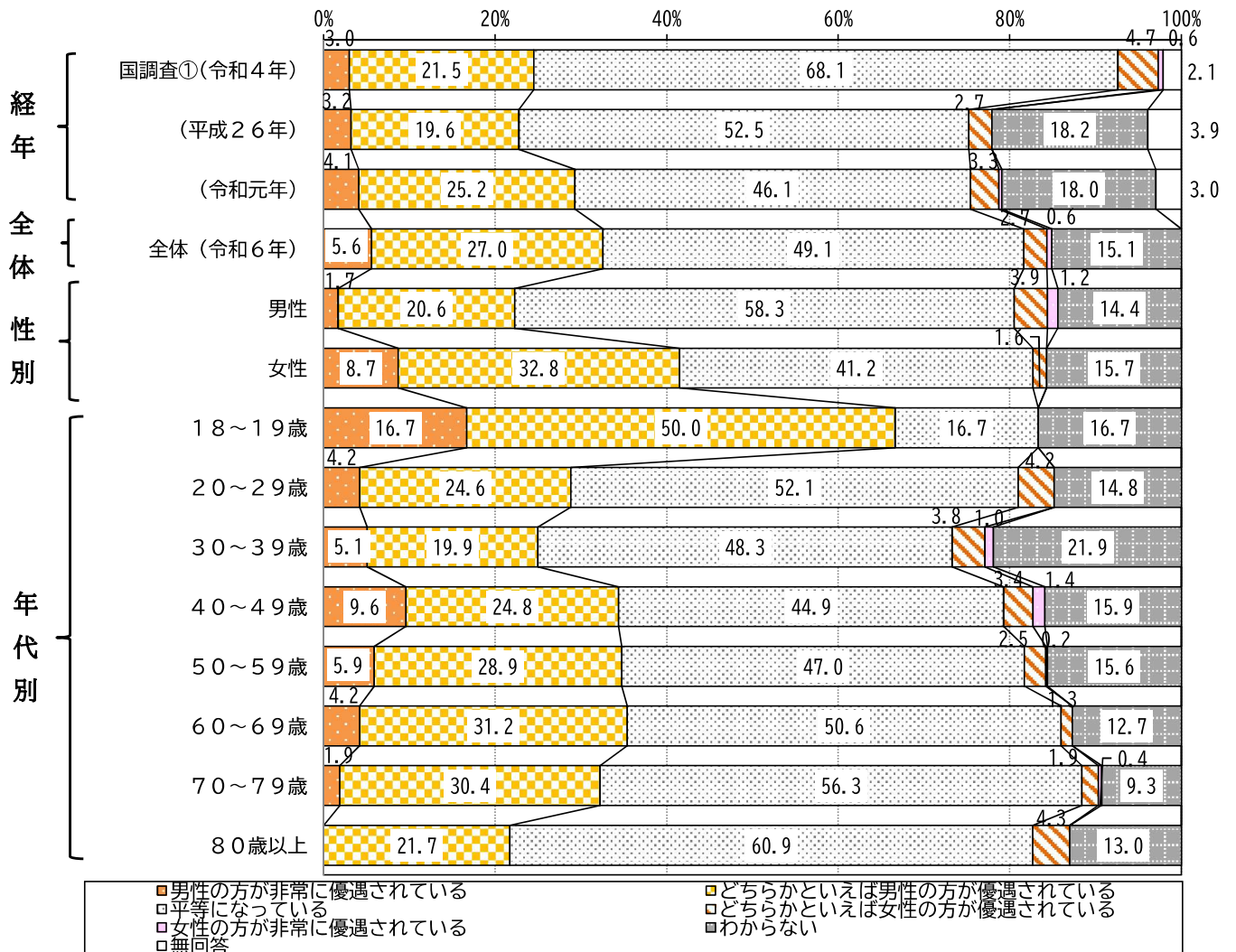
国の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、国調査（令和4年）では87.9%となっており、県調査（70.9%）は17.0ポイント下回っている。

過去の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から1.0ポイント増加し、「平等になっている」と回答した者の割合も3.8ポイント増加している。

性別で見ると、男性・女性ともに「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合が高く、男性（59.7%）より女性（80.7%）の方が21.0ポイント上回っている。

年代別で見ると、いずれの年代も「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合が高く、特に50歳代以上では7割以上と高くなっている。

図表2－キ『学校教育の分野で』の男女の地位の平等感（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



『学校教育の分野で』の男女の地位の平等感については、全体では、「平等になっている」(49.1%)と回答した者の割合が高く、次いで「男性の方が優遇されている」と回答した者(「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計(以下同じ))の割合が32.6%となっている。

国の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、国調査(令和4年)では24.5%となっており、県調査(32.6%)は8.1ポイント上回っている。

過去の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から3.3ポイント増加し、「平等になっている」と回答した者の割合も3.0ポイント増加している。

性別で見ると、男性は「平等になっている」(58.3%)と回答した者の割合が高く、女性は「男性の方が優遇されている」(41.5%)と回答した者の割合が高くなっている。

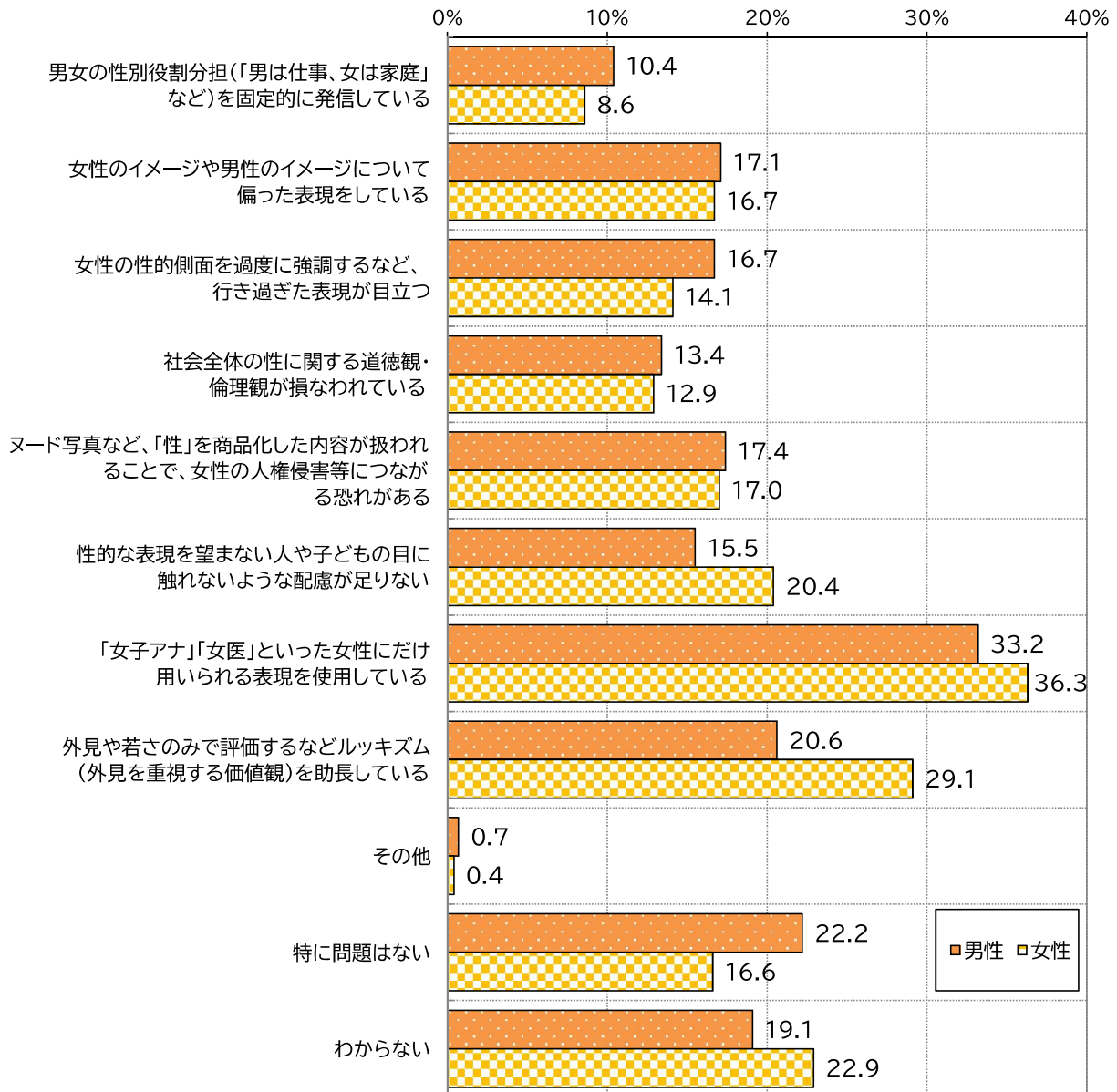
年代別で見ると、18～19歳以外の年代は「平等になっている」と回答した者の割合が高く、特に20歳代、60歳代以上では5割以上、18～19歳は「男性の方が優遇されている」(66.7%)と高くなっている。

(3) メディアにおける性別役割分担や性、暴力の表現に関する考え (問3)

問3 新聞、ラジオ、テレビやインターネット、SNS等のメディアにおける性別役割分担や性、暴力の表現について、あなたはどのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものをすべて選んでください。

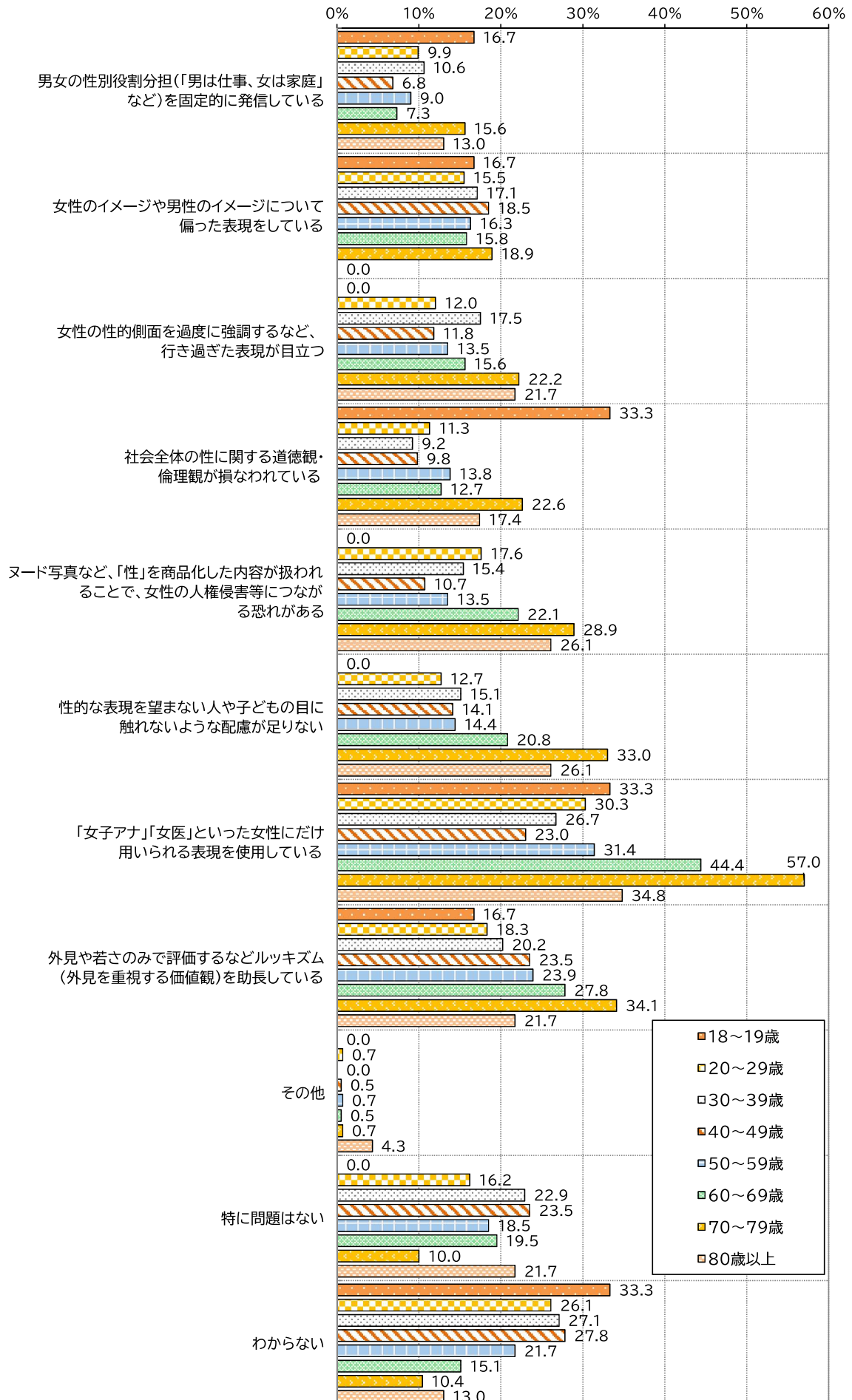
図表3-(1)-1 新聞、ラジオ、テレビ、雑誌媒体について (性別)

(N=男性 939 女性 1,039)



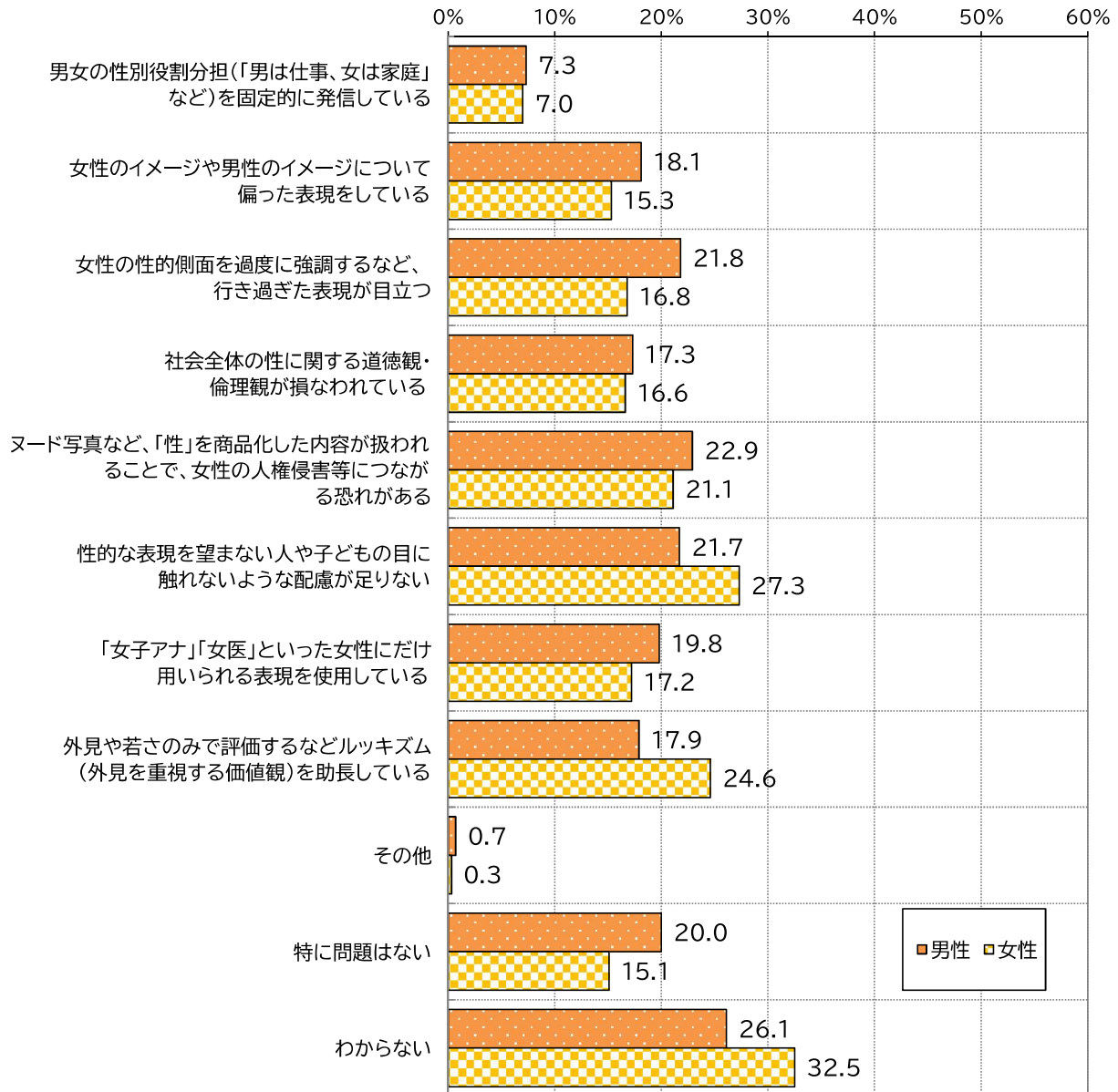
新聞、ラジオ、テレビ、雑誌媒体における性別役割分担や性、暴力の表現に関する考えについては、男性・女性ともに「『女子アナ』『女医』といった女性にだけ用いられる表現を使用している」(男性33.2%、女性36.3%)と回答した者の割合が最も高く、次いで、男性は「特に問題はない」(22.2%)、女性は「外見や若さのみで評価するなどルッキズム(外見を重視する価値観)を助長している」(29.1%)となっている。

図表3－(1)－2 新聞、ラジオ、テレビ、雑誌媒体について(N=2,000)(年代別)



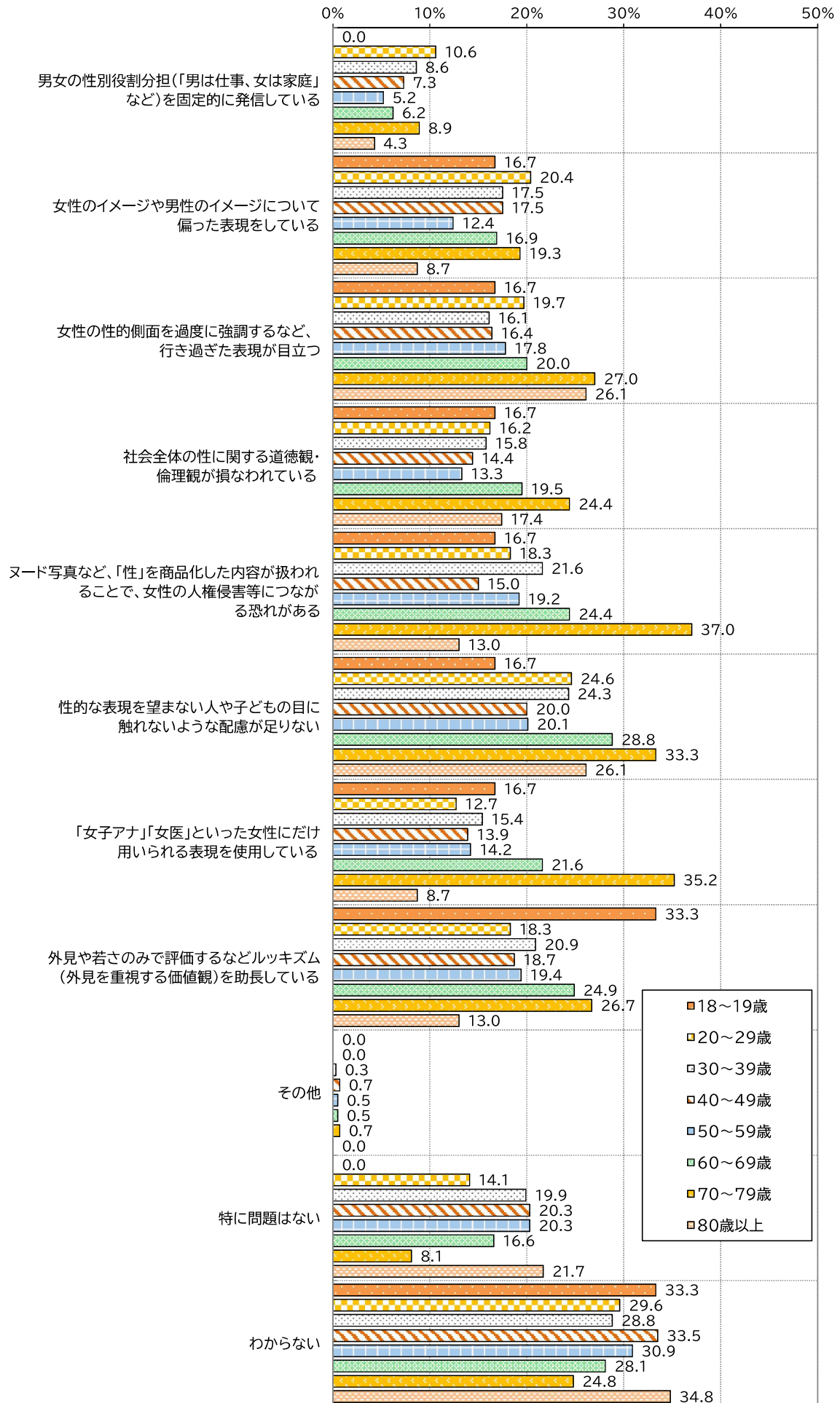
年代別でみると、「わからない」と回答した者を除き、20 歳代、30 歳代、50 歳以上は「『女子アナ』『女医』といった女性にだけ用いられる表現を使用している」と回答した者の割合が最も高く、40 歳代は「外見や若さのみで評価するなどルッキズムを助長している」と回答した者の割合が最も高くなっている。

図表3－(2)－1 インターネット、SNS、YouTube等について(性別)
(N=男性 939 女性 1,039)



インターネット、Facebook、Instagram、LINE等のSNS、YouTube等における性別役割分担や性暴力の表現に関する考えについては、男性・女性ともに「わからない」(男性26.1%、女性32.5%)と回答した者の割合が最も高く、次いで、男性は「ヌード写真など、「性」を商品化した内容が扱われることで、女性の人権侵害等につながる恐れがある」(22.9%)、女性は「性的な表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」(27.3%)となっている。

図表3－（2）－2 インターネット、SNS、YouTube 等について（N=2,000）（年代別）



年代別でみると、わからないと回答した者を除き、20 歳代、30 歳代、60 歳代は「性的な表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」、70 歳代は「ヌード写真など、「性」を商品化した内容が扱われることで、女性の人権侵害等につながる恐れがある」(37.0%)、18～19 歳は「外見や若さのみで評価するなどルッキズム(外見を重視する価値観)を助長している」(33.3%)、40 歳代、50 歳代は「特に問題はない」が(同じ 20.3%)と最も高かった。